

# 基準病床数とは

資料 8

平成29年10月27日

医療審議会

根拠

医療法（同法第30条の4第2項第11号）

目的

医療機関(病床)の適正配置、患者の病態に応じた病床の確保

種類

種類	設定単位
療養病床及び一般病床	二次医療圏ごと
精神病床	県単位
結核病床	県単位
感染症病床	県単位

○病床の種別

平成13年の医療法改正により「療養病床」「一般病床」「精神病床」「結核病床」「感染症病床」の5種類に区分された。

それ以前は、療養病床と一般病床の区別がなく「その他の病床」とされ、病床種別は4種類であった。

算定方法

病床種別ごとに、国が示す算定式により算出

影響

基準病床数を超える病床は、原則として開設できない

○ これまで既存病床数(医療法施行規則に基づくもの)が基準病床数に満たない区域では、当該病床の開設・増床が可能とされてきたが、地域医療構想における将来の病床数の必要量を踏まえて、慎重な検討が必要とされている。

○ 既存病床数が基準病床数を超えている区域では、当該病床の開設・増床ができない。(特例あり)

○ 既存病床数が基準病床数を超える区域であっても、現にある病床を基準病床数まで強制的に削減させるというものではない。

見直し

少なくとも5年ごとに見直し（医療法） ※次期医療計画から6年ごとに見直し

青森県の現在の基準病床数

平成25年3月に設定(平成25年4月施行)。→平成30年3月に見直し

## 基準病床数の算定式（療養・一般病床）

### ア 療養病床の算定（二次医療圏ごとに次の式により算出）

$$\text{算定式 } (\Sigma A_1 B_1 - G + C_1 - D_1) / E_1$$

ただし、二次医療圏毎に算定した数の県合計数は、二次保健医療圏ごとの  $(\Sigma A_1 B_1 - G) / E_1$  の県合計数を超えることができない。

- A<sub>1</sub> 当該区域の性別・年齢階級別人口（5歳毎）
- B<sub>1</sub> 当該区域の性別・年齢階級別入院受療率（5歳毎）
- C<sub>1</sub> 当該区域への他区域からの流入入院患者数
- D<sub>1</sub> 当該区域から他区域への流出入院患者数
- E<sub>1</sub> 療養病床利用率
- G 介護施設、在宅医療等で対応可能な数

### イ 一般病床の算定（二次医療圏ごとに次の式により算出）

$$\text{算定式 } (\Sigma A_1 B_2 \times F + C_2 - D_2) / E_2$$

ただし、二次医療圏毎に算定した数の県合計数は、二次保健医療圏ごとの  $(\Sigma A_1 B_2 \times F) / E_2$  の県合計数を超えることができない。

- A<sub>1</sub> 当該区域の性別・年齢階級別人口（5歳毎）
- B<sub>2</sub> 当該区域の性別・年齢階級別退院率（5歳毎）
- C<sub>2</sub> 当該区域への他区域からの流入入院患者数
- D<sub>2</sub> 当該区域から他区域への流出入院患者数
- E<sub>2</sub> 病床利用率
- F 平均在院日数

## 1 算定項目と使用データ

項 目	区分		使用データ
	療養病床	一般病床	
人 口	○	○	平成27年国勢調査(性別・年齢階級別)
性別及び年齢階級別療養病床入院受療率	○		厚生労働省告示(H29.3.28 第89号)
性別及び年齢階級別一般病床退院率		○	厚生労働省告示(H29.3.28 第89号)
介護施設、在宅医療等に対応可能な数	○		平成37年度における市町村ごとの療養病床の入院患者から生じる在宅医療等の医療需要 H29.8.10付け医政地発0810第1号ほか3課合同通知
病床利用率	○	○	厚生労働省告示(H29.3.28 第89号) 療養病床 0.90 、一般病床 0.76
平均在院日数		○	厚生労働省告示(H29.3.28 第89号) 15.3日
流入入院患者数	○	○	青森県受療動向調査(H28.10.27 実施)
流出入院患者数	○	○	平成26年患者調査(閲覧第157表「病院の推計入院患者数の構成割合、施設所在地-患者所在地・二次医療圏内-二次医療圏外×二次医療圏×病床の種別別」)

## 2 データ等の説明

項 目	説 明
青森県受療動向調査	県内の全医療機関を対象に、平成28年10月27日に受療動向調査を実施。 「流入入院患者」については県外からの流入の把握できる。しかし「流出入院患者」については、県内他圏域への流出は把握できるが、県外への流出の把握はできない。
患者調査	国が全国医療機関を無作為抽出して3年に1度行う調査。 病院の推計入院患者数の構成割合(施設所在地・患者住所地、二次医療圏内・医療圏外)により、県外への流 出入院患者数の推計が可能。
流入及び流出入院患者数の調整方法	流入が流出を超えると、算定数が県上限値を超えるため、 ①「流入入院患者≦流出入院患者」とする。 ② 流入入院患者＞流出入院患者 となる場合は、流入＝流出とし超過分を調整する

療養病床・一般病床の基準病床数試算(※)結果

圏域	基準療養病床数			基準一般病床数			基準病床数 (案) (②+④) A	現行(25年度) の 基準病床数 (①+③) B	基準病床数 増減 (A-B)
	前回算出数 (24年度)①	今回算出数②	増減 ②-①	前回算出数 (24年度)③	今回算出数④	増減 ④-③			
津軽地域	549	962	413	2,476	2,238	△ 238	3,200	3,025	175
八戸地域	807	814	7	2,357	2,150	△ 207	2,964	3,164	△ 200
青森地域	625	791	166	2,417	2,263	△ 154	3,054	3,042	12
西北五地域	254	472	218	501	459	△ 42	931	755	176
上十三地域	120	449	329	819	811	△ 8	1,260	939	321
下北地域	0	226	226	395	374	△ 21	600	395	205
計	2,355	3,714	1,359	8,965	8,295	△ 670	12,009	11,320	689

(参考) 新基準病床数と既存病床数との対比

圏域	新基準病床数 (案) A	既存病床数 (H29.9.1現在) C	C-A
津軽地域	3,200	3,624	424
八戸地域	2,964	3,129	165
青森地域	3,054	3,186	132
西北五地域	931	1,201	270
上十三地域	1,260	1,201	△ 59
下北地域	600	563	△ 37
計	12,009	12,904	895

青森県の基準病床数の増減に関する考察

- ◆ 療養病床について  
→地域医療構想により入院医療から在宅医療等への患者の移行を進めるものの、高齢化等の影響により増加する患者が多いことから、基準病床数が増加している。
- ◆ 一般病床について  
→平均在院日数の短縮(17日→15.3日)及び人口の大幅な減少(H22→H27: ▲65,074人)により、基準病床数が減少している。

(※) 今後、青森県受療動向調査結果の確定に伴う**流出入院患者数**や療養病床から介護医療院等への転換の見込調査結果による**介護施設、在宅医療等**で**対応可能な数**が変動することにより、基準病床数が増減する場合があります。

## 2 精神病床に係る基準病床数（案）

### （１） 算定式

$$\frac{(\text{平成32年度末の入院患者数} + \text{流入入院患者} - \text{流出院患者})}{\text{ア}} \div \frac{\text{病床利用率}}{\text{ウ}}$$

ア 平成32年度末の入院患者数

（平成32年における推計人口）×（急性期入院受療率） の総和

＋ （平成32年における推計人口）×（回復期入院受療率） の総和

＋ （平成32年における推計人口）×（認知症でない者に係る慢性期入院受療率） の総和

× （精神病床における入院期間が1年以上である入院患者のうち継続的な入院治療を必要とする者の割合  $\alpha$ ）

× （地域精神保健医療体制の高度化による影響値  $\beta$ ）

＋ （平成32年における推計人口）×（認知症である者に係る慢性期入院受療率） の総和

× （地域精神保健医療体制の高度化による影響値  $\gamma$ ）

※1 「推計人口」及び「入院受療率」は本県における性別及び年齢階級別の数値とする。

※2 「入院受療率」は平成26年における数値とする。

イ 流入及び流出院患者

＋（精神病床における他都道府県から本県への流入入院患者数） － （精神病床における本県から他都道府県への流出院患者数）

ウ 精神病床利用率

× （1／精神病床利用率）

### （２） 算定

ア 平成32年度末の入院患者数

平成32年の推計人口

性別	年齢階級	推計人口
男	0-4歳	18,705
男	5-9歳	21,848
男	10-14歳	24,076
男	15-19歳	27,460
男	20-24歳	27,881
男	25-29歳	28,381
男	30-34歳	27,313
男	35-39歳	32,192
男	40-44歳	37,788
男	45-49歳	42,162
男	50-54歳	39,569
男	55-59歳	40,322
男	60-64歳	41,625
男	65-69歳	46,309
男	70-74歳	46,279
男	75-79歳	30,718
男	80-84歳	23,221
男	85-89歳	14,707
男	90歳以上	7,092
女	0-4歳	17,746
女	5-9歳	20,648
女	10-14歳	23,229
女	15-19歳	26,501
女	20-24歳	27,046
女	25-29歳	27,025
女	30-34歳	26,289
女	35-39歳	31,515
女	40-44歳	37,437
女	45-49歳	42,953
女	50-54歳	42,003
女	55-59歳	43,667
女	60-64歳	46,855
女	65-69歳	53,307
女	70-74歳	55,627
女	75-79歳	43,541
女	80-84歳	39,253
女	85-89歳	31,848
女	90歳以上	22,040

平成26年の入院受療率(人口10万対)都道府県別

平成26年患者調査入院票をもとに作成。

患者住所地をもとに集計。

0～3月	3～12月	1年以上		
		総数	認知症	認知症以外
0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
0.02%	0.00%	0.01%	0.00%	0.01%
0.01%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
0.04%	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%
0.02%	0.01%	0.03%	0.00%	0.03%
0.06%	0.04%	0.03%	0.00%	0.03%
0.03%	0.03%	0.04%	0.00%	0.04%
0.05%	0.03%	0.09%	0.00%	0.09%
0.05%	0.05%	0.11%	0.00%	0.11%
0.09%	0.03%	0.15%	0.01%	0.14%
0.07%	0.06%	0.23%	0.01%	0.22%
0.08%	0.05%	0.36%	0.03%	0.34%
0.09%	0.07%	0.38%	0.05%	0.33%
0.08%	0.09%	0.35%	0.06%	0.29%
0.09%	0.09%	0.26%	0.08%	0.18%
0.16%	0.18%	0.29%	0.14%	0.15%
0.23%	0.24%	0.27%	0.14%	0.13%
0.14%	0.29%	0.19%	0.19%	0.00%
0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
0.01%	0.01%	0.00%	0.00%	0.00%
0.05%	0.01%	0.01%	0.00%	0.01%
0.03%	0.01%	0.04%	0.00%	0.04%
0.06%	0.01%	0.04%	0.00%	0.04%
0.08%	0.03%	0.04%	0.00%	0.04%
0.09%	0.05%	0.06%	0.00%	0.06%
0.06%	0.04%	0.09%	0.00%	0.09%
0.06%	0.04%	0.13%	0.00%	0.13%
0.07%	0.04%	0.14%	0.00%	0.13%
0.06%	0.07%	0.21%	0.02%	0.19%
0.08%	0.08%	0.25%	0.03%	0.22%
0.11%	0.06%	0.28%	0.05%	0.23%
0.10%	0.10%	0.23%	0.07%	0.16%
0.17%	0.18%	0.31%	0.23%	0.08%
0.21%	0.24%	0.38%	0.30%	0.08%
0.11%	0.21%	0.47%	0.45%	0.02%

平成32年における推計入院患者数

0～3月	3～12月	1年以上		
		総数	認知症	認知症以外
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
5	0	2	0	2
3	0	0	0	0
12	8	0	0	0
6	4	8	0	8
17	10	8	0	8
11	11	12	0	12
19	11	32	0	32
21	19	45	0	45
34	13	59	4	55
28	23	94	4	90
32	20	152	11	141
42	31	175	25	151
39	41	160	27	133
29	26	80	23	57
38	42	67	33	34
34	35	39	20	19
10	21	14	14	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
3	2	0	0	0
14	2	2	0	2
9	2	12	0	12
14	2	11	0	11
26	10	11	0	11
33	18	21	0	21
24	18	38	0	38
26	17	54	0	54
31	17	60	2	58
30	32	99	10	90
45	41	132	14	118
63	34	155	27	128
42	43	100	30	70
68	72	121	89	31
67	77	122	96	26
23	46	103	98	4
計		898	748	1,988
			527	1,461

政策効果

認知症	認知症以外
$\times(1-\gamma)$	$\times(1-\alpha \times \beta)$
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	2
0	2
0	3
0	7
0	9
0	11
0	19
1	29
1	31
2	28
1	12
2	7
1	4
1	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	3
0	2
0	2
0	4
0	8
0	11
0	12
1	19
1	25
2	27
2	15
5	6
6	5
6	1
32	304

3,298 人

精神病床における入院期間が1年以上である入院患者のうち継続的な入院治療を必要とする者の割合 $\alpha$	0.85
地域精神保健医療体制の高度化による影響値 $\beta$ → 0.96の3乗を調整数値0.95で除す。	0.9313
地域精神保健医療体制の高度化による影響値 $\gamma$ → 0.98の3乗	0.9412

# イ 流入及び流出入院患者

精神病床における他都道府県から本県への流入入院患者数 100人 (平成26年度 患者調査 下巻第12表)

精神病床における本県から他都道府県への流出入院患者数 100人 (平成26年度 患者調査 下巻第13表)

# ウ 精神病床利用率

精神病床利用率 0.95 (厚生労働省告示)  $1 / 0.95 = 1.052631\dots$

## (3) 新算定式による基準病床数(案)(精神病床)

平成32年度末 の入院患者数 (ア)	流入入院 患者数 (イ)	流出入院 患者数 (ウ)	精神病床 利用率 (エ)	基準病床数 (ア+イ-ウ) $\times (1/\text{エ})$ A	見直し前の 基準病床数 B	基準病床数 の増減 A-B	既存病床数 (H29.9.1) C	既存病床数と 基準病床数 C-A
3,298	100	100	0.95	3,472	3,870	△398	4,453	981

【参考】前回計画策定時(H24)における算定式による基準病床数

1年未満 入院群 (ア)	1年以上 入院群 (イ)	加算 (ウ)	基準病床数 (ア+イ+ウ) A	見直し前の 基準病床数 B	基準病床数 の増減 A-B	既存病床数 (H24.10.1) C	既存病床数と 基準病床数 C-A
1,705	2,165	0	3,870	3,918	△48	4,511	641

### 3 結核病床に係る基準病床数（案）

（１）算定式  $ア \times イ \times ウ \times エ + オ$  （平成 28 年年報のデータを使用）

ア 1 日あたりの感染症法第 19 条及び第 20 条の規定に基づき入院した結核患者の数

新登録塗抹陽性患者 72 人  $\div$  365 日 = 0.20

イ 感染症法第 19 条及び第 20 条の規定に基づき入院した結核患者の退院までに要する平均日数

74 日

ウ 感染症法第 12 条第 1 項の規定による医師の届出のあった年間新規患者（確定例）発生数の区分に応じた数値

年間新登録患者数 171 人  $\rightarrow$  国の区分(100 人以上 499 人以下)により 1.5

エ 1（ただし、重症結核、季節変動、結核以外の患者の混入、その他当該都道府県の区域の事情に照らして 1 を越え 1.5 以下の範囲内で都道府県知事が特に定めた場合にあっては当該数値）

本県の場合、結核罹患率は減少傾向で推移しているが、東北 6 県の中では罹患率が高い地域であること、塗抹陽性罹患率及び患者の入院日数が横ばいで推移していること等を考慮し、最大値の 1.5 に定める

オ 慢性排菌患者（2 年以上登録されており、かつ 1 年以内に受けた検査でも菌陽性であった肺結核患者）の入院者数

平成 28 年該当患者なし 0

#### （２）新基準病床数（案）（結核病床）

ア	イ	ウ	エ	オ	基準病床数 ( $ア \times イ \times ウ \times$ $エ + オ$ ) A	見直し前 基準病床 数 B	基準病 床数の 増減 $A - B$	既存病床 数 (H29.9.1) C	既存病床数と 基準病床数 $C - A$
0.20	74	1.5	1.5	0	33	60	-27	60	27

#### 【参考】現行基準病床数（結核病床）

ア	イ	ウ	エ	オ	基準病床数 ( $ア \times イ \times ウ \times$ $エ + オ$ ) A	見直し前 基準病床 数 B	基準病 床数の 増減 $A - B$	既存病床数 (H24.10.1) C	既存病床数と 基準病床数 $C - A$
0.26	103	1.5	1.5	0	60	65	-5	66	6



#### 4 感染症病床に係る基準病床数（案）

##### （１）算定式

都道府県の区域ごとに「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく

ア 厚生労働大臣の指定を受けている特定感染症指定医療機関の感染症病床

イ 都道府県知事の指定を受けている第一種感染症指定医療機関の感染症病床

ウ 都道府県知事の指定を受けている第二種感染症指定医療機関の感染症病床

の合計数を基準として都道府県知事が定める数

##### 本県の状況（必要とされる病床数）

ア 特定感染症指定医療機関の感染症病床 0 床

イ 第一種感染症指定医療機関の感染症病床 2 床

（都道府県の区域ごとに 1 か所、2 床）

ウ 第二種感染症指定医療機関の感染症病床 28 床

（二次医療圏の人口が 30 万人未満：4 床、30 万人以上 100 万人未満：6 床）

圏 域	病床数
津軽地域	4
八戸地域	6
青森地域	6
西北五地域	4
上十三地域	4
下北地域	4
計	28

##### （２）新基準病床数（案）（感染症病床）

基準病床数 （ア＋イ＋ウ） A	見直し前の 基準病床数 B	基準病床 数の増減 A－B	既存病床数 （H29.9.1） C	既存病床数と 基準病床数 C－A
30	32	－2	29	－1

##### 【参考】現行基準病床数（感染症病床）

基準病床数 （ア＋イ＋ウ） A	見直し前の 基準病床数 B	基準病床 数の増減 A－B	既存病床数 （H24.10.1） C	既存病床数と 基準病床数 C－A
32	32	0	20	－12